

おめでとうございます

11月3日付けで秋の叙勲が発令され、浦田憲一さん、井手口宥公さん、
紅田正文さん、山本清一さん、山田昇さんが受章されました。

旭日小綬章

^{うらた}浦田 ^{けんいち}憲一さん(75歳、大黒町)

浦田さんは、昭和54年5月から平成11年4月まで20年の永きにわたり田川市議会議員を務め、平成15年4月から平成27年4月まで12年にわたって福岡県議会議員として優れた指導力と豊かな経験を発揮し、市政・県政の発展に尽力されました。また、保護司として犯罪や非行を起こした人たちの社会復帰を支援し、田川文化連盟の役員(平成20年4月から会長)として文化遺産などの保存と普及に尽力するなど、永年にわたり多方面において貢献されました。

浦田さんは「受章は本当に光栄です。今後も体が動く限り、活動を続けたい」と話しました。



※承諾いただいた人のみ掲載しています。
年齢は受章日現在のものを記載しています。

旭日双光章

^{いでぐち}井手口 ^{ひろきみ}宥公さん(75歳、大黒町)

井手口さんは、平成17年12月に福岡県美容生活衛生同業組合の理事長に就任以来、強い信条を持ち、美容師の社会的地位の向上に尽力されました。また、業界の指導者として組合組織の拡大や美容師の技術指導、後継者の育成に力を注ぎ、美容業界の発展向上に貢献されました。中でも、組合の重要課題であった組織拡大活動に大きく貢献。魅力ある組織作りに努力を重ね、7年間で1,300人以上の加入者を増やすなど、全国的に突出した功績を残しています。

井手口さんは「今後も組合員の技術力向上や人材確保などに努力を続けたい」と話しました。

瑞宝双光章

^{こうだ}紅田 ^{まさふみ}正文さん(70歳、楠)

紅田さんは、田川、飯塚、直方など筑豊地区を中心に土木事務所長を務め、福岡県土木部でも要職を歴任。道路や河川の環境整備に尽力し、住民の安全安心の確保、生活環境の改善に大きく貢献されました。特に平成9年4月に田川土木事務所長に就任した際は、国との協議に精力的に取り組み、県道田川直方線バイパスや国道322号バイパスの整備のため、先頭に立って陣頭指揮をとるなど、地域の社会資本を整備し地域振興の重要な布石を残しました。

紅田さんは「筑豊の人たちに支えられて今があります。本当に感謝しています」と話しました。

瑞宝単光章

^{やまもと}山本 ^{きよかず}清一さん(70歳、弓削田)

山本さんは、昭和45年9月から平成19年3月に分団長として退団するまで、実に36年の永きにわたり、消防団員として卓越した見識と手腕によって業務を遂行し、消防の発展と郷土防災のために尽力されました。特に平成9年に発生した工場火災では、極めて危険な状況の中でも冷静に状況を判断し、消火活動を敢行。延焼を最小限に防止した功績が高く評価されています。

山本さんは「受章を機に、支えてくれた昔の仲間と改めて絆を深めることができ、うれしく思います」と話しました。

瑞宝双光章

^{やまだ}山田 ^{のぼる}昇さん(65歳、伊田)

山田さんは昭和45年8月に田川地区消防組合消防士に就任以来、火災予防の原点である防火思想の啓発と消防施設の整備に尽力し、広域における消防体制の整備に全力を注ぎ、消防体制と広域消防行政の推進に貢献されました。また、山田さんは田川地区消防組合の救急救命士であり、消防長として部下を統率するとともに、画期的な企画を次々に打ち出し、田川地区消防発展の大きな礎となる功績を残されました。

山田さんは「今後は、支えてくれた人たちや家族と過ごす時間を大切にしたい」と話しました。